

ひまわり

No.28「冬の入り口」

令和2年11月12日(木)



ひとりごと

秋も深まり、すっかり寒くなってきました。日中でも気温は10度を下回り、校庭からは虫が姿を消し、教室から見える宝達山は赤く染まり始めました。晴れた日には霜が降ることもあり、冬の訪れを感じます。

みずきさんも、交流の理科の授業でも涼しくなってからの生き物の観察をし、友だちと秋の自然を体で感じています。

音楽集会

11月5日、休み時間や放課後、クラスのみんなと一生懸命練習してきた成果を全校に発表してきました。歌は「いいことありそう」、合奏では「スーパーカリフラジスティックエクスピアリドーシャス」を披露しました。4年生は学年発表の5番目でした。また、全校で「いのちの歌」や「ふるさと」を合唱し、羽咋のギター同好会の方々とのコラボ演奏もあり、コロナ禍のなかでこの規模のイベントが開催できたことに感動しました。



冬の実り

ひまわり学級では、冬に向けてラディッシュを栽培しています。先日は芽が出てきたラディッシュを間引きました。また、間引いたラディッシュは油揚げと一緒に味噌汁にして、すみれ学級の2人や校長先生、栽培のアドバイスをくれる用務員の堀さんに振舞いました。これから実がなるのが楽しみです。

